

つなぐチカラで、私学をもっと元気に。

塀の中の私学

神奈川県のある私学のチャレンジ。それは、学校の周りの塀を取り払い、外から学校が見えるようにしたことでした。日々の学校生活やクラブ活動が見える環境は、地元の人々に興味を生み、それはやがて親近感に変わり、好感へと育ちました。生徒たちも、人から見られる環境の中で多くの気付きを得て、成長の刺激になっています。このエピソードは、私学の大きな課題を象徴しています。ほとんどの人々にとって、私学はまだ、塀の中のよくわからない世界、になっているのではないのでしょうか。

少子化と志望率

いま大学で課題となっている2018年問題は、すでに私立中高一貫校で始まっています。首都圏の私学2XX校のうち、定員割れ校は実に00%。少子化は今後もさらに進みますので、生徒を確保するためには、私学志望率を上げていくことが必須ですが、首都圏の志望率はこの5年間、ほぼ頭打ちになっています。加えて、公立中高一貫校との差別化といった課題にも取り組まねばなりません。それらを打開するためには、各校が独自に努力してきた従来の施策だけでは限定的だと私たちは考えています。

METAスクールという発想

私学には、知られていない素晴らしい魅力がたくさんあります。従来のコミュニケーションでは伝わらなかったそれらの情報を抽出し、塀の外に出して、多くの人々に伝わる形でつなぐこと。情報だけではなく、学校・生徒・先生と、社会・企業・世界を、さまざまな形でつなぐこと。さらに、塀を取り払って学校同士をつなぐこと。私たちは、学校という枠を超えたMETAスクールの発想で、こうした「つなぐ」をプロデュースし、これまでにない新しい価値を生み出して、私学の課題解決に貢献します。

